

writing note



H号館304号室では、「書き方」の相談を受け付けています。

- ・レポート
- ・手紙
- ・チラシ作り
- ・企画書
- ・名刺作り
- ・プログラムノート
- ・就職活動の作文 など

予約なしで
いつでもどうぞ！

発行日：平成 24 年 4 月 16 日発行
大阪音楽大学 日本語ライティング支援室
平成 22 年度「大学生の就業力育成支援事業」採択事業
H号館 304 号室（内線 527）相談受付：月～金 10 時～18 時
メールアドレス：daion304@gmail.com ブログ：<http://daion3304.exblog.jp/>

音を紡ぎだす「手」。

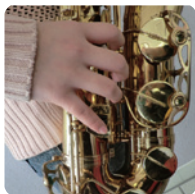
音大生の「手」といえば、まず何よりも音楽を生み出す「手」です。学内のいたる所で、音を出す「手」を見つけました。とはいえ、楽器によって「手」の仕事はさまざま。押す、叩く、支える、握る、弾く、掴む、持つ、振る、つまむ。また、演奏だけでなく、パチン！と音を立てて仲間とつながる楽しそうな「手」もありました。



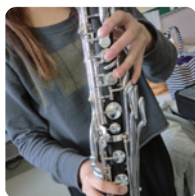
③



②



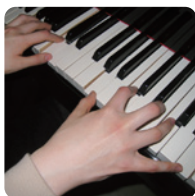
①



⑥



⑤



④



特集 じっと「手」を見る。

大音の「手」をコレクションしてみました。

「手」って、何だろう？

毎日使う手。皆さんは、どんな時に「手」に注目しますか。

「レッスンを受けている時、手本を弾いてくれる先生の『手』に注目する」だとか、「赤ちゃんのもみじのような『手』がかわいくて、電車で思わず観察してしまった」だとか……。使うことがあまりにも当たり前で、わざわざ眺めることの少ない自分の「手」。「手」というのは、自分のものよりも、むしろ他人のものを見ることで、初めて意識できるものかもしれない。

そこで今回は、大音のあちこちから、「手」を集めてきました。予想以上に、個性的な「手」がいっぱい。「手」だらけの写真を撮るうちに、によるよると「手」が追いかけてくる夢まで見てしまいました。

現在、日本の人口は約1億2500万人。日本には2億本以上の「手」があるわけです。その中で、自分の「手」は何ができるのかな？ そんなことを考えるようになりました。

①サクソフオーン女子。複雑な形の楽器ですが、手を添えるとやわらかい雰囲気。

②A号館ロビーにて。声楽女子の2人が「久しぶり〜！」とハイタッチ。若いです！

③O号館練習室で、ヴィオラ女子。白魚のような手。力まず、ごく軽く弓を持つているのが印象的。

④ピアノ女子。伸ばした右手の小指がいじらしい。それぞれの指がめいめい動いています。

⑤これは何でしょう？ 打楽器専攻の集団です。運んでいたゴンゴと一緒にパチリ。手がたくさんあると頼もしいです。

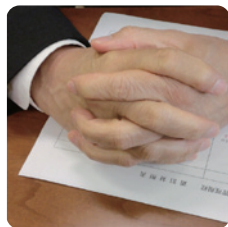
⑥バスケットネット女子。大きな楽器をささっと組み立てる手つきも良かったです。

大人の「手」の味わい。

実は、「手」を特集しようと決めたものの、「大学って同じような年齢の学生が集まっている場所だから、似たような『手』ばかりになってしまうのでは？」と心配になりました。「手」には年齢が表れます。では、学生以外の人の「手」は？それぞれの部署に行くと、こんな「手」に会えますよ。



⑨



⑧



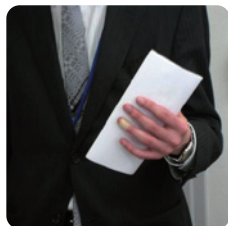
⑦



⑫



⑪



⑩

⑦管理事務部門。指輪です。

⑧理事。応接机にスーツです。

⑨食堂ばうぜ。コック帽と同じくらい大きな手！

⑩学務事務部門。バンドエイドです。

⑪管理事務部門。散水機です。

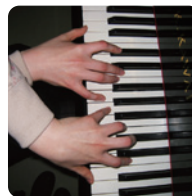
⑫昨年度ご退職なさった教職の藤田先生。リコーダーです。

「手」の魅力。

ららら～



るるる～



「手」から直に音が出るわけではありませんが、「手」があることで音楽の魅力が増すことがあります。たとえば声楽。歌いながら「手」を動かすことで、身体がリラクゼーションし、聴く側にもドラマティックな音の盛り上がりや伝わりやすさを感じさせます。マンガで、効果線によって紙面から音がバーンと立ち上がるような気がすることって、ありませんか？音は耳で聞くものですが、目も耳を助けるのです。「手」は音に視覚的な効果を与えます。

ピアノの演奏で、最初の音を奏でる瞬間の「手」が好きです。何か恐ろしい敵に立ち向かおうとしているように感じられる時もあれば、赤ちゃんの頬にそっと優しく触れたように感じられる時もあります。「手」にはたくさんの表情があり、見ている者を魅了します。演奏が終わった瞬間、宙を舞い余韻を楽しんだ後、ゆっくりと下ろされる「手」も素敵です。

集まれ！大音の素敵なめがねさんたち！

大音の★めがねさん

8本目 吉田朋寛さん 2012年器楽学科卒業(ピアノ)

今日のめがね： 緑と茶色の混じったような色のスクエアフレーム。めがねへのこだわりは特になく、強いて言えば親に「真ん丸レンズのめがねじゃかって悪い」と言われて変えたくらい。今のめがねが何代目かわからないほどの長いめがね歴の持ち主です。



★学生生活について

—— 大学生活で思い出のある場所は？

「はつせ2階とH304号室（日本語ライティング支援室）、あとは学校近くのお好み焼き屋さん「千恵」ですね。豚玉が好きでよく食べてました。人に連れられて初めて行った時、入るのに勇氣

おまけ

手八丁口八丁。

最後に、「手」にまつわるユニークな表現を集めました。「手八丁口八丁（てはつちょうくちはつちょうく）」とは、手先も口先も達者なこと。何をやってても、話しても、次から次へと上手くこなしてしまっことをいいます。褒め言葉にもなり、場合によっては、器用すぎて信用できない人という悪い意味で使われることもあるようです。

「手」を使った表現には、良い意味のものもあれば、悪い意味のものもあります。「手仕事」というと、機械ではなく手で丁寧にもので良い意味。「両手に花」も嬉しい。また、今ではほとんど聞かない表現ですが、「手鍋下げても」。好きな男と夫婦になれるなら、自分で煮炊きをするような貧乏暮らし

でもいいという意味です。ただの「鍋」ではなく、「手鍋」というところに、実際に自分の「手」でご飯を作る感じが出ているのでは。

逆に、良くない意味のものには、次の例があります。「手ですることを足でする」。

取るべき手段を取らないで、誤った方法を用いることのため。例えば、ドアを足で開けたりしてはいけませんよ。

「手が空けば口が開く」。「手が空く」とは、仕事がないこと。仕事がないと、口を開いて無駄話ばかりしてしまうという意味です。

こうしてみると、「手」は仕事、すなわち、人間が生きるのに必要な活動を象徴していることがわかります。

★ 今回のめがねさんは、春から晴れて社会人になったピアノ専攻の吉田君。学内でよくいる場所に日本語ライティング支援室を挙げてくれるほどの常連さんです。今回はピアノのこと、めがねのことなど、改めて質問してみました。

—— めがねをかけた始めたのはいつから？

「小学校1年生の時です。中学3年まではほぼ毎年めがねを新調していました。高校受験の時に勉強しすぎてほとんど目が悪くなっていったって、牛乳瓶の底みたいなレンズになったときは、目が見えなくなるんじゃないかって焦りました」

—— コンタクトレンズを使ったことは？

「高校2年生の時に半年間試してみたんですが、コンタクトをしてピアノを弾くと距離感がおかしいというか、なんだかうまくいかない。音大を受験するのに、手元が狂って弾きにくいのはよくないぞ、と思ってめがねに戻しました。ちなみに家族（父・母・妹）全員めがねをかけています。お風呂と寝る時以外は外しません。ラーメンを食べる時も外しません（笑）」

「手」をめいりっぽい使うことで、いい仕事をしていきたいものです。

役に立たない手①
猫手



役に立たない手②
萌え手



がいりましたが、いざ入ってみるとほのぼのとして、いい感じのお店だな、と。今では一人で行って、お店のおばさんと話しながら食べることも多いですね」

★音楽について

—ピアノを習い始めたのはいつ？

「3歳の時に近くのヤマハ音楽教室に通い始めたんです。親が幼稚園の先生をやっていたので、家にアップライトのピアノがありました。自分では覚えてないんですが、ピアノのイスの上によじ登って鍵盤を叩いていたらいいです。小学校に入る頃から個人の先生について本格的に習い始めました。それからずっとその先生に習っています」

—ピアノは一日どのくらい弾きますか？

「1日3時間。休みの日は6時間くらい弾いています。小さい頃からずっとそうです。練習に飽きたら、たまに片手でピアノを弾きながら本を読んでいたこともありました」

—へえ、どんな本を？

「ミトヤエル・エンゾの『777』です」

—どんな音楽が好きですか？

「作曲家の伊福部昭が好きです。『ゴジラ』のBGMは特に好きで、小さい頃からテレビでよく『ゴジラ』を見てました。音楽を聴くだけでこのシーンが大体わかります。あとはニコニコ動画なんかも見ます(笑)」

—んと考えられるようになったと思います」

—就職活動で印象に残っていることは？

「面接の時間に遅れたことです。面接の1時間前から面接会場の建物の前で待っていたのに、建物の中の移動時間を計算し忘れていて、面接の集合時間に建物に入ってしまったんです。結果、遅刻扱いになってしまいました。何のために1時間も前からいたのか…と落ち込みました」

—面接についてもいろいろ考えていましたね。

「はい。どうして音大なのに関係のない企業に来たんだ、というようなことを聞かれましたね。けど、『色々知り合いの仕事近くで見えていて、大変なことは知っていますが、それでもどうしてもその仕事に就きたいんだ』というのを伝えました」

—熱意が伝わったんですね。すでに働き始めているとかが？

「少しずつですが、業務に加えていただいています。覚えることが多くて大変ですが、『やりたい』と思って就いた仕事なので、頑張っていきたいと思えます」

—そんなことも乗り越えて、内定がとれてよかったんです。就職活動用の文章を書くのに1年近くH304号室に通っていましたね。何度も持ってきては書き直していたのが印象に残っています。

「書き直しをなかつたら前に進まないですしね…。正直、『書き直してこい』と言われるたび、『また書き直すのか』と思います。でも、『僕のために言ってくれてるのに、それをほね

★趣味について

—ピアノを弾かない時は何をしていますか？

「うーんなんだろう…。何も考えずに町内を散歩するのが好きです。その割に方向音痴なんですけど(笑)。いつもなかなか道順が覚えられずに苦労しています。あとは、料理と登山かな」

—料理ですか。

「はい。家で食材宅配サービスを利用しているんですが、それに付いてる作り方を見て、その通りに作って食べるのが好きです。魚を焼くのは難しいなあ、なんて思いながら作ってます。焼き加減がよく分からなくて…。妹と一緒に料理を作ることもあるんですが、お互い無言で黙々と作ってます」

—登山については？

「小学生の頃、宝塚にある祖父の家に遊びに行っていたんですが、近くにハイキングコースがあって、祖父の飼っている犬と散歩がてらよく行ってました。それから山が好きになって。中山寺とか満願寺を巡りました。宝塚周辺の山は結構登ったと思います。いつかは富士山に登ってみたいです」

★将来について

—先日、就職先が決まったと知らせてくれましたね。おめでとうございませう！ 就職活動はどうでしたか？

「いろいろ大変だったけど、やってよかったと思います。おかげで字も前よりも綺麗になったし、文章の構成も以前よりもきちのけたら何をしに来てるかわからない』と思います。とりあえず書き直してみようと思いました。履歴書を書きながら学んだことは、今後も絶対に必要になってくるものだと思います。だから、自分でもやる気になれたんだと思います」

—ありがとうございます。最後に、大音の学生に一言！

「なにか興味があることがあれば『まずは動く』という事です。僕の場合はそれが就職活動でした。まず動いてみようと思って、学内のキャリア支援センターの講座や学内の就職イベントにも参加しました。そうやっているうちに、自分に足りないものがわかってきて、『次はこうしよう』ということが、働き始めることができるので、『まずは動く』ということが、働き始めた今も役に立っているなと実感しています」

*インタビューは2012年3月に行いました。

先生ってどんな人？

2012年4月から、武藤好男先生（作曲専攻）が本学の新学長に就任されました。そこで春の恒例、あいうえお作文にチャレンジしていただきます。さあ、結果はいかに？

む

「むかしは物をおもはざりけり」という和歌がありますが、思いもかけず学長になってしまった身としては、おもいわずらいの真つ最中です。

と

というわけで、なげなしの知恵を絞っていろいろ考えるのですが、ロクでもないことしか思い浮かびません。一生懸命考えようとはするのですが、頭がもうろうとして眠くなります。と、そのときです。ピンクの目をした白い

う

ウサギが「大変だ、遅れてしまう！」と言いながら目の前を走り抜きました。そしてウサギは上着のポケットから時計を取り出し、

よ

「世の中にたえて桜のなかりせば……」と言うやいなや、そこにあった古池にドボンと飛び込んでしまいました。

し

下の句は何だっけ……ウサギ跳び込む水の音、でもないしハテ？と考えだすと、すっかり目が覚めてしまいました。すると池の中から大声が。

お

「オーレはジャイアン、ガキ大将」鼓膜が破れそうなエコーのかかったひどい声です。でも、学長になったからにはジャイアンに負けてなんかはいられません。モバイルスーツに身を包み、学長アムロは今日も世界に美しい音楽を取り戻すために戦い続けます。



オマケ…むの上の句は「逢ひみての後の心にくらぶれば」、よの下の句は「春の

心はのどけからまし」です。どうです、つなげると二首できました。メ
デタシメデタシ。そこでもう一首。

むりをしてとりとめもないうたかたのよしなしことをおもいわずらう

武藤先生、「お名前を1文字ずつ先頭に置いて文章を書いてください」という無茶なお願いに応えてくださって、ありがとうございました。届いた原稿は、まさかの歌物語。個性あふれる戦いに思わず吹き出していました。これからもよろしく願います！

